

2019年3月期 第3四半期決算

説明資料

株式会社 **トクヤマ**

2019年1月31日



2019年3月期 第3四半期決算のポイント

- 売上高・営業利益については、通期見通し達成に向けて引き続き注力。
- 原燃料は、石炭価格は高止まりが続くものの高騰が一服、ナフサ価格は下落に転じ、インプットコストの上昇に歯止め。
- 有利子負債削減が進み、中期経営計画目標の一つであるDEレシオ1.0以下を2年前倒しで達成。

CONTENTS

- 1 2019年3月期 第3四半期決算
- 2 2019年3月期 業績予想
- 3 トピックス
- 4 補足資料

① 2019年3月期 第3四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

1. 決算概要

(億円)

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	2,260	2,382	+121	+5	苛性ソーダの価格是正
営業利益	301	254	△46	△16	苛性ソーダの価格是正 原燃料コストの増加
経常利益	264	236	△28	△11	営業利益の減少 営業外損益の改善
親会社株主に帰属する 四半期純利益	73	195	+122	+167	特別損益の改善
1株当たり 四半期純利益(円)	82.18	281.56	-	-	-
為替(円/\$)	112	111	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kl)	39,800	52,000	-	-	-

1. 決算概要

(億円)

	2018年 3月末	2018年 12月末	増 減	主要な変動要因
総資産	3,619	3,637	+18	新規連結子会社の発生等に伴う 固定資産の増加
自己資本	1,256	1,384	+127	親会社株主に帰属する 四半期純利益の積み上げ
自己資本比率	34.7%	38.0%	+3.3ポイント	-
有利子負債	1,399	1,313	△85	長期借入金の減少
D/Eレシオ	1.11	0.95	△0.16	-
ネットD/Eレシオ*	0.58	0.51	△0.07	-
1株当たり純資産 (円)	1,806.56	1,992.76	-	-

*ネットD/Eレシオ: (有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託) / 自己資本

2.セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

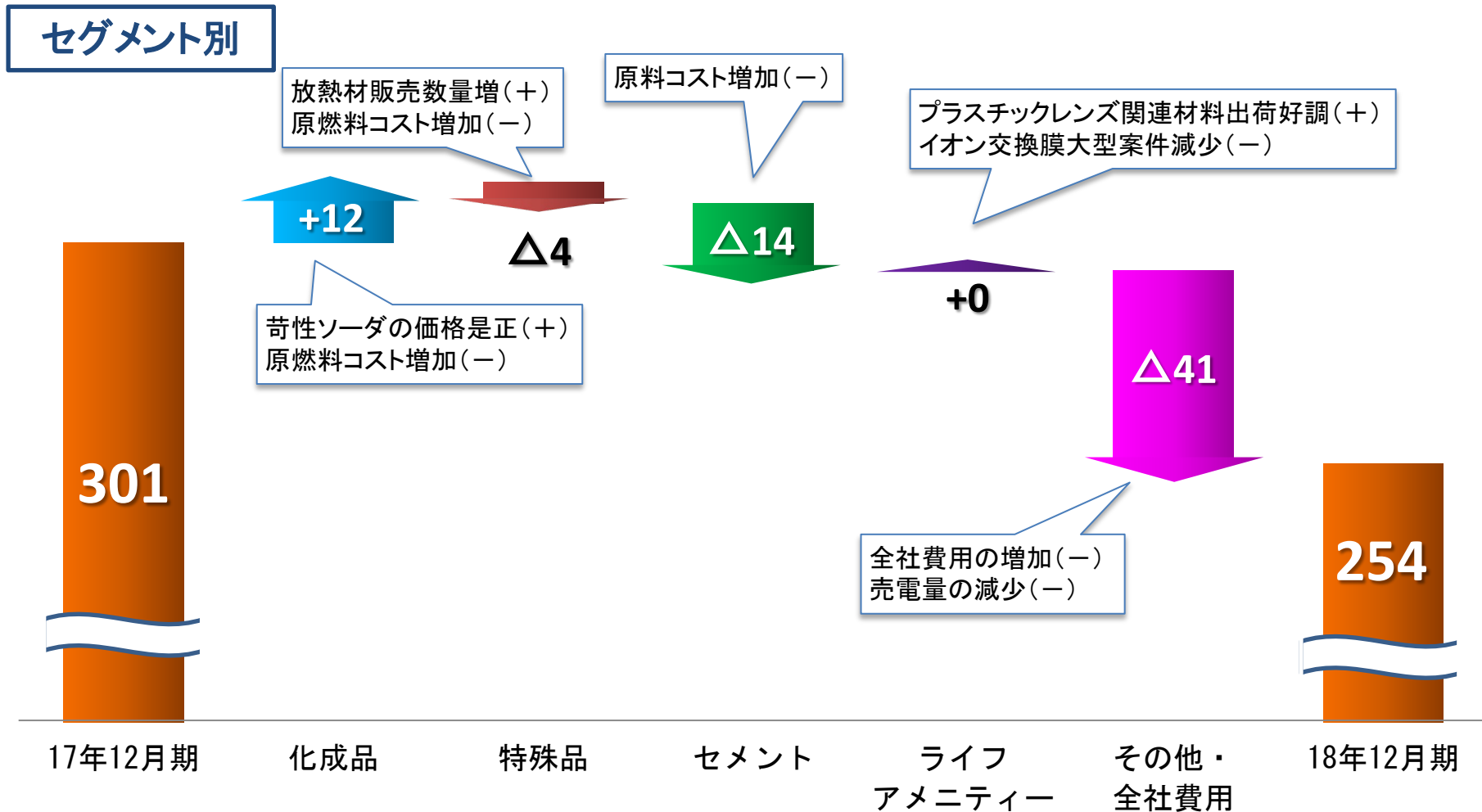
(億円)

	2018年3月期 第3四半期		2019年3月期 第3四半期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	678	114	742	126	+63	+9	+12	+11
特殊品	417	73	420	68	+2	+1	△4	△6
セメント	657	36	690	22	+33	+5	△14	△39
ライフアメニティー	377	23	393	23	+15	+4	+0	+0
その他	410	50	451	27	+40	+10	△22	△45
計	2,542	297	2,697	269	+155	+6	△28	△10
セグメント間 消去・全社費用	△281	3	△314	△14	△33	-	△18	-
連結決算	2,260	301	2,382	254	+121	+5	△46	△16

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

3. 営業利益増減分析

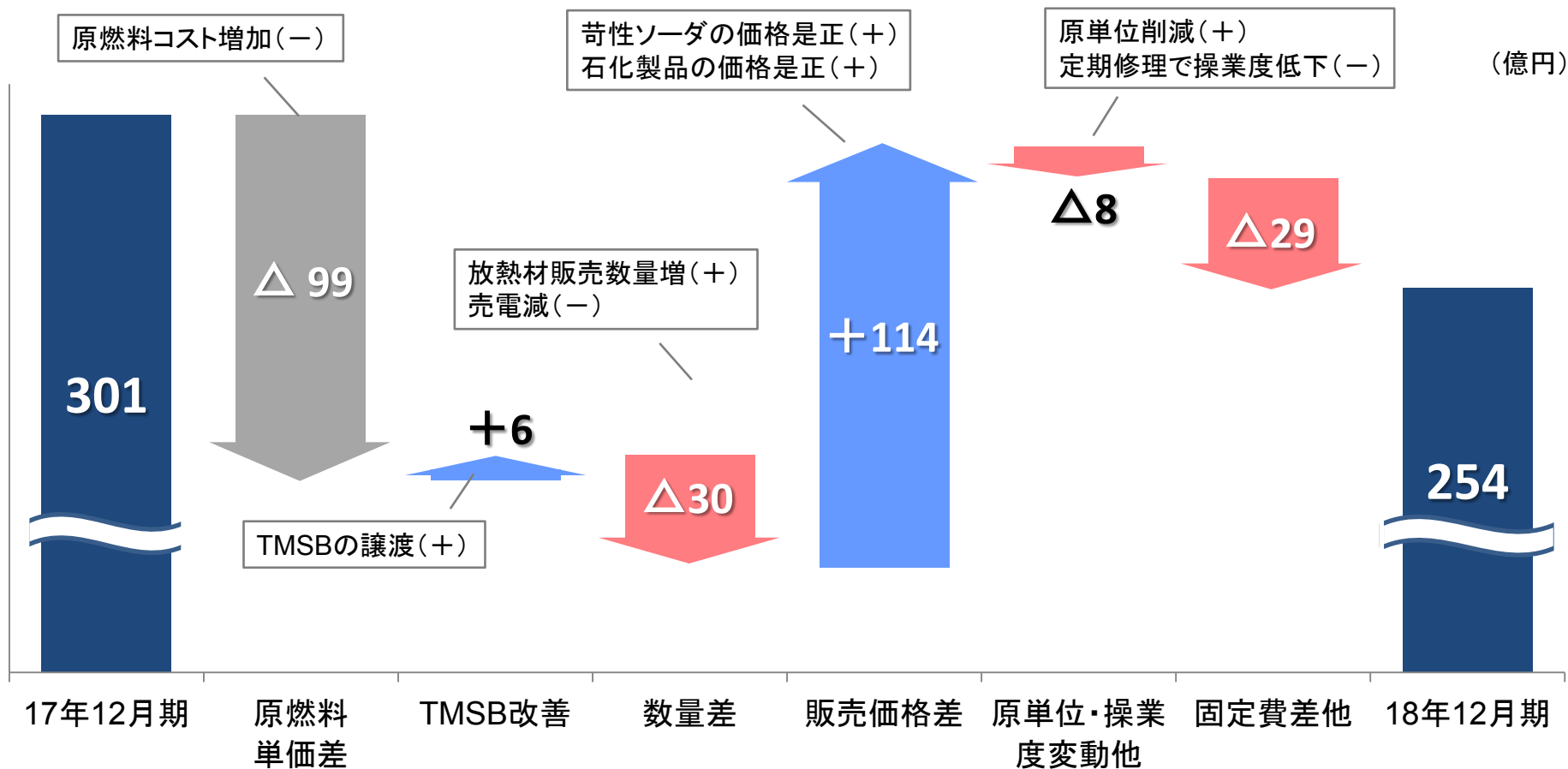
(前年同期比) (億円)



3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

要因別



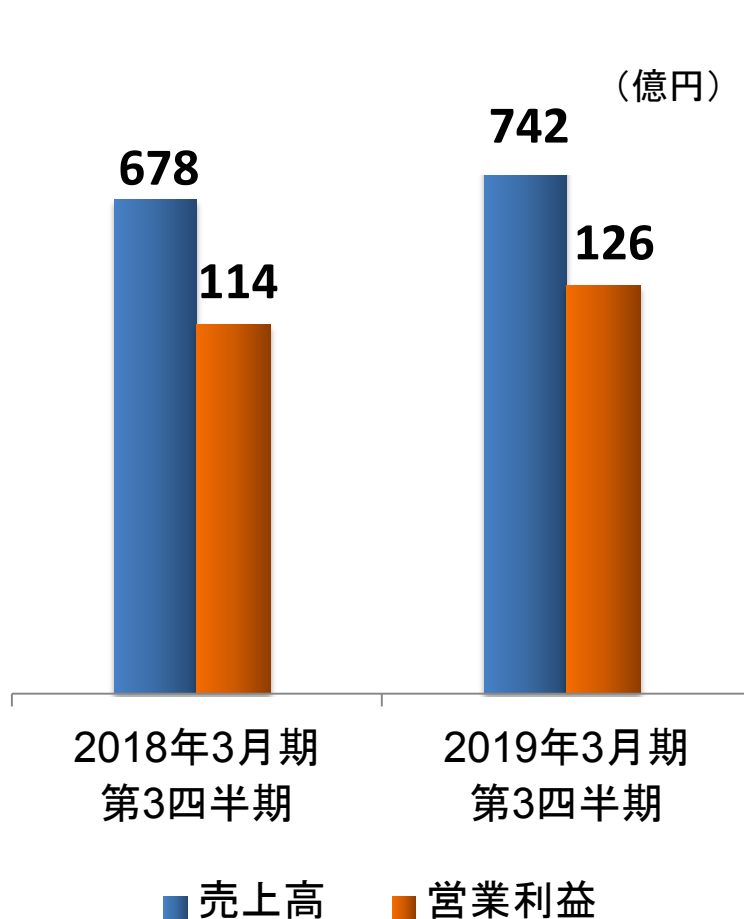
*TMSB: トクヤママレーシア

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

化成品

増収増益

定性情報



(苛性ソーダ)

- ・国内の販売価格の是正が進んだことにより、業績が大きく伸長

(塩ビ樹脂)

- ・販売数量は堅調に推移したものの、国産ナフサ等の原料価格の上昇により製造コストが増加し、減益

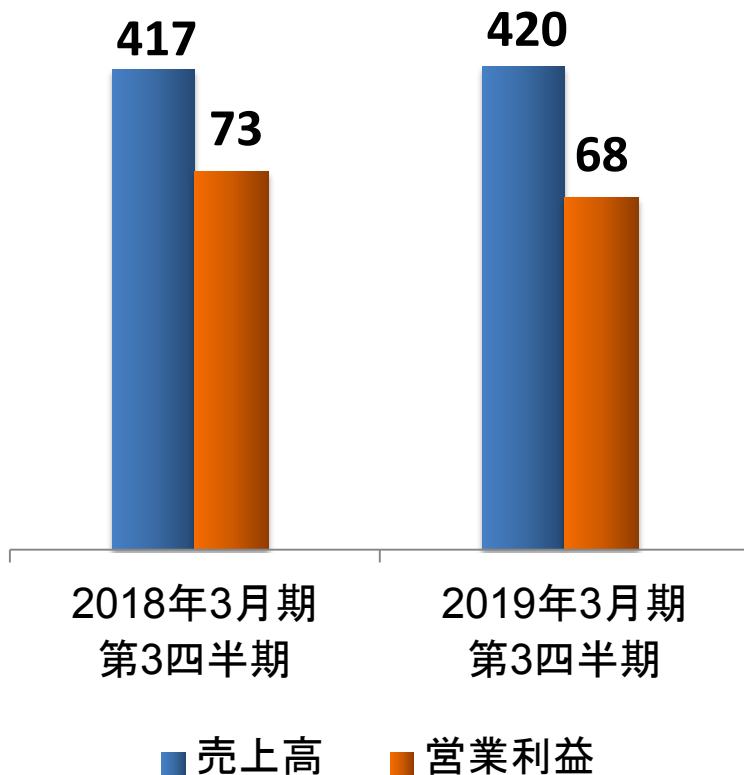
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

特殊品

増収減益

定性情報

(億円)



(半導体向け多結晶シリコン)

・販売数量が堅調に推移したものの、原燃料価格の上昇等により製造コストが増加し、減益

(電子工業用高純度薬品)

・半導体製品用途で販売数量が増加したものの、国産ナフサ等の原料価格の上昇により製造コストが増加し、減益

(放熱材)

・半導体製造装置部材向けを中心に販売数量が増加し、好調に推移

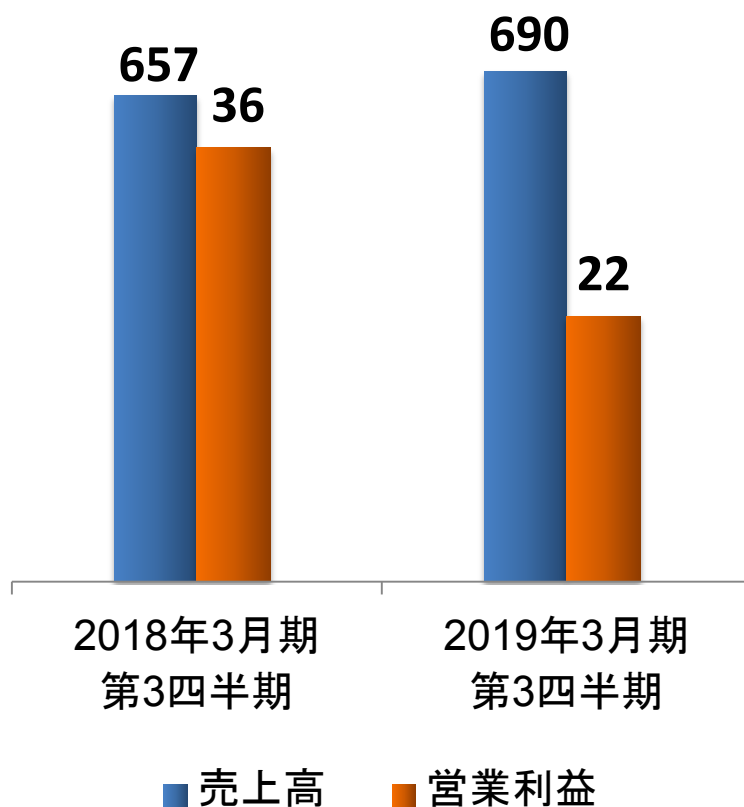
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

セメント

増収減益

定性情報

(億円)



(セメント)

- ・国内の出荷が軟調に推移したことや、石炭等の原料価格の上昇により製造コストが増加し、減益

(資源リサイクル)

- ・廃棄物の受入数量は減少したものの、廃棄物処理単価が上昇した結果、業績はほぼ前年同期並み

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

ライフアメニティー

増収増益

定性情報

(億円)

(プラスチックレンズ関連材料)

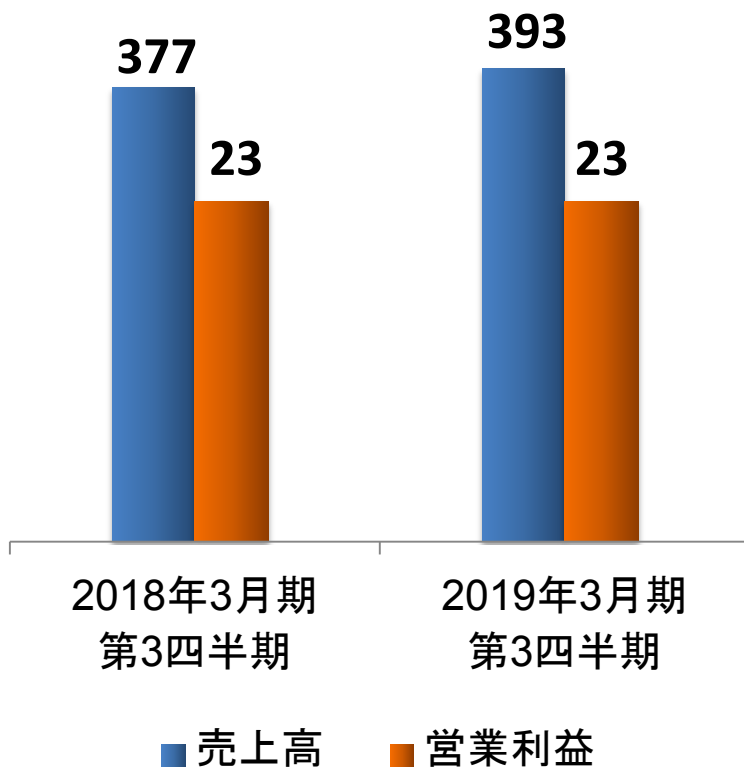
- ・メガネレンズ用フォトクロミック材料の出荷が底堅く推移し、好調

(ポリオレフィンフィルム)

- ・原料価格の上昇により製造コストが増加し、減益

(イオン交換膜)

- ・出荷は堅調に推移するも、大型案件のあった対前年同期比では減益



② 2019年3月期 業績予想

1. 業績予想
2. セグメント別業績予想



1. 業績予想

(億円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,080	3,280	+199	+6	苛性ソーダ及び石化製品などの 価格是正と販売数量増加
営業利益	412	380	△32	△8	原燃料価格上昇による 製造コスト増加
経常利益	361	340	△21	△6	営業利益の減少
親会社株主に帰属する 当期純利益	196	270	+73	+37	特別損益の改善
1株当たり 当期純利益(円)	259.81	388.15	-		-
為替(円/\$)	111	1~3Q実績:111	-		-
		4Q前提:110			
国産ナフサ価格 (円/kl)	41,900	1~3Q実績:52,000	-		-
		4Q前提:42,000			

2. セグメント別業績予想

(億円)

	2018年3月期実績		2019年3月期予想 (4/27公表)		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	935	161	1,020	180	+84	+9	+18	+11
特殊品	586	110	630	110	+43	+7	△0	△0
セメント	873	45	930	45	+56	+6	△0	△1
ライフアメニティー	515	37	560	30	+44	+9	△7	△20
その他	545	62	540	35	△5	△1	△27	△44
計	3,456	416	3,680	400	+223	+6	△16	△4
セグメント間 消去・全社費用	△376	△4	△400	△20	△23	-	△15	-
連結決算	3,080	412	3,280	380	+199	+6	△32	△8

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

3 トピックス

1. 今後の事業環境と取り組み

1. 今後の事業環境と取り組み

	事業環境	取り組み
化成品	<ul style="list-style-type: none"> ■ 石炭は高止まるが、ナフサ価格は下落傾向 ■ 苛性ソーダの国内需要は引き続き堅調 ■ インドの輸入規制は解決方向 	<ul style="list-style-type: none"> ■ スプレッド改善 ■ 苛性ソーダ国内販売価格維持
特殊品	<ul style="list-style-type: none"> ■ 半導体関連製品は、米中貿易摩擦の影響が懸念されるものの堅調に推移 ■ 高品質化に対する要求の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高品質化対応による差別化 ■ 需要に応じた生産供給体制の強化(増産、供給網強化) ■ 値戻し、および原料コスト上昇分の価格転嫁、
セメント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 石炭などの原料コストが高止まり ■ 内需はほぼ前年度並みで、今後は国土強靱化などの公共事業に期待 ■ 輸出価格は回復基調 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販売価格是正 ■ 製造コストの徹底した削減 ■ セメントの輸出強化
ライフアメニティー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢化の進展などによる健康志向の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 顧客のニーズや市場の変化に対応した新製品開発・製品化活動に注力 ■ これまで培った開発力、品質管理ノウハウを活かしたヘルスケア分野での展開



Chemistry with a heart

TOKUYAMA



4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)
2. 業績推移

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	差 損 益	
			金額	%
売上高	2,260	2,382	+121	+5
売上原価	1,521	1,662	△141	△9
販管費	438	466	△27	△6
営業利益	301	254	△46	△16
営業外損益	△36	△17	+18	-
経常利益	264	236	△28	△11
特別損益	△19	1	+20	-
税前三半期純利益	245	238	△7	△3
法人税等	119	38	+81	+68
非支配株主損益	52	4	+48	+92
親会社株主に帰属する 四半期純利益	73	195	+122	+167

(注)差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

貸借対照表

(億円)

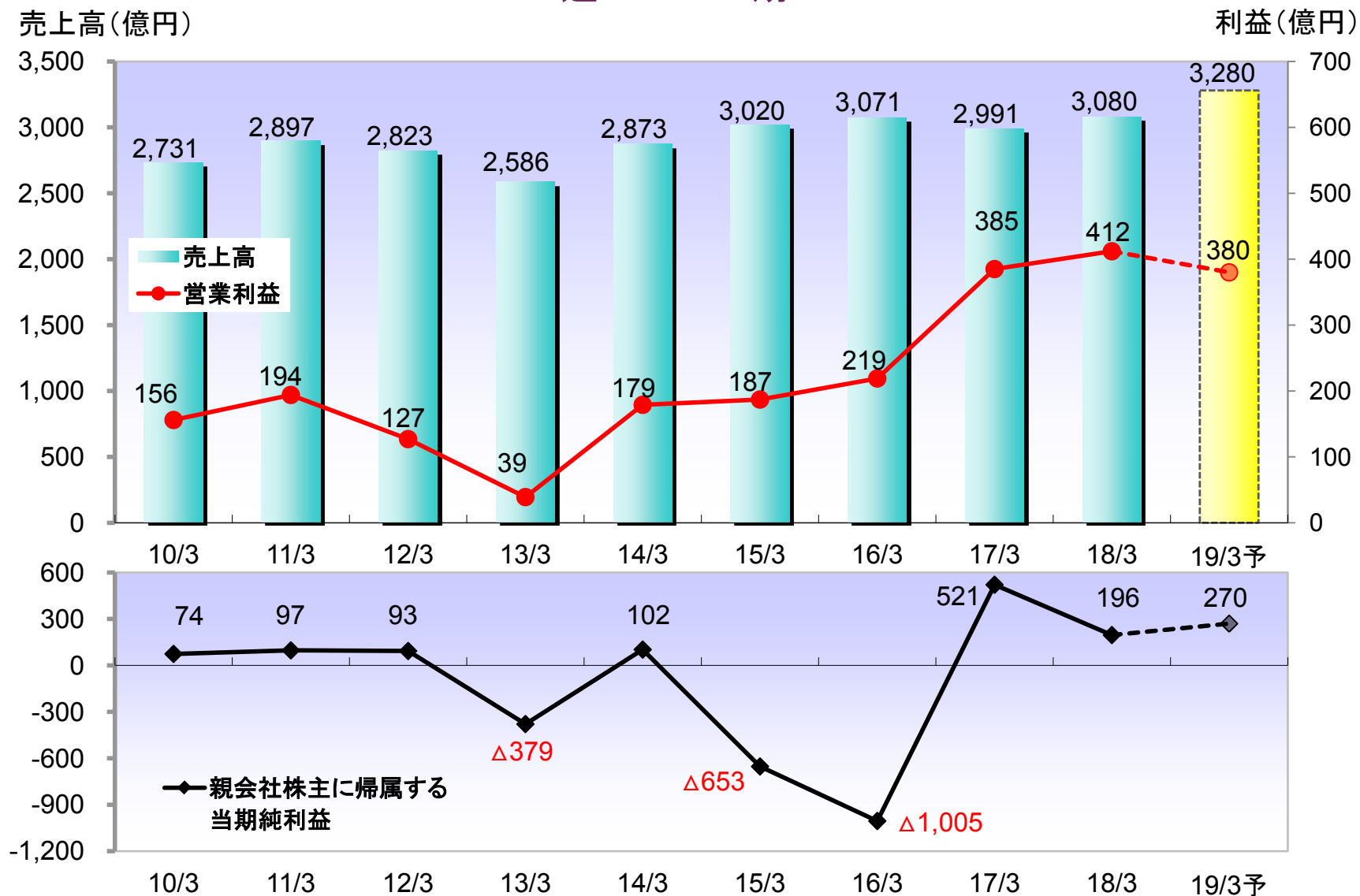
	2018年3月末	2018年12月末	増減	
			金額	%
資産合計	3,619	3,637	+18	+1
流動資産	1,910	1,896	△14	△1
有形固定資産	1,102	1,154	+51	+5
無形固定資産	27	19	△7	△29
投資その他の資産	579	568	△10	△2

	2018年3月末	2018年12月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,253	2,148	△105	△5
流動負債	930	885	△45	△5
固定負債	1,323	1,263	△59	△5
純資産合計	1,365	1,489	+123	+9

4 補足資料

2. 業績推移

通 期

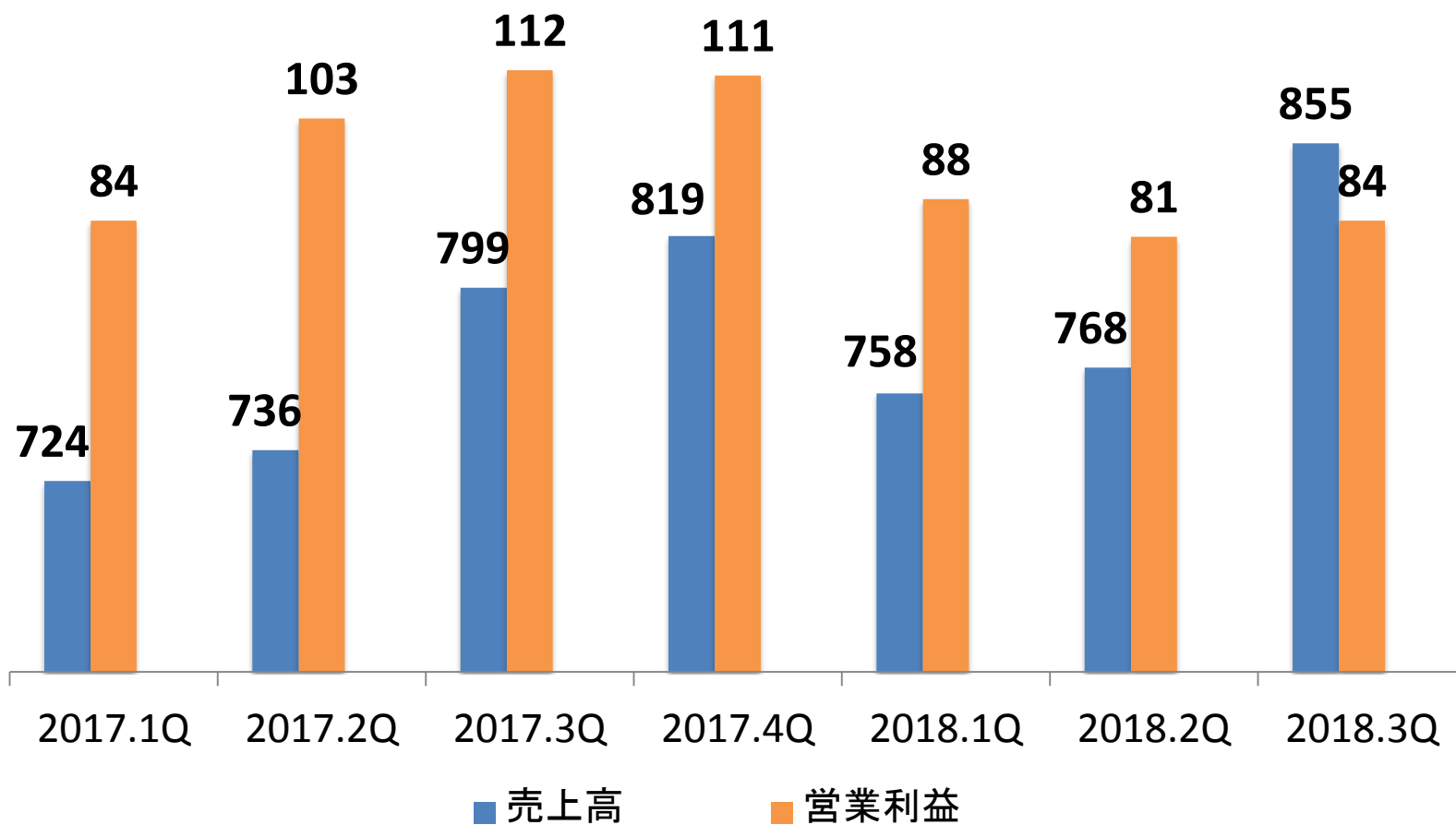


2. 業績推移

連結

四 半 期

(億円)

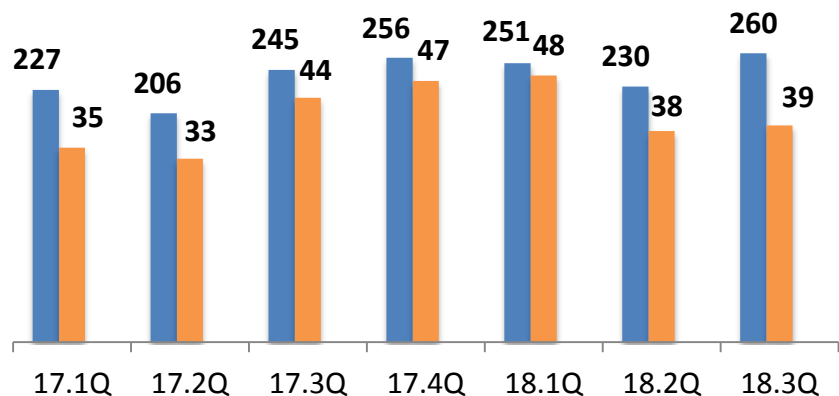


2. 業績推移

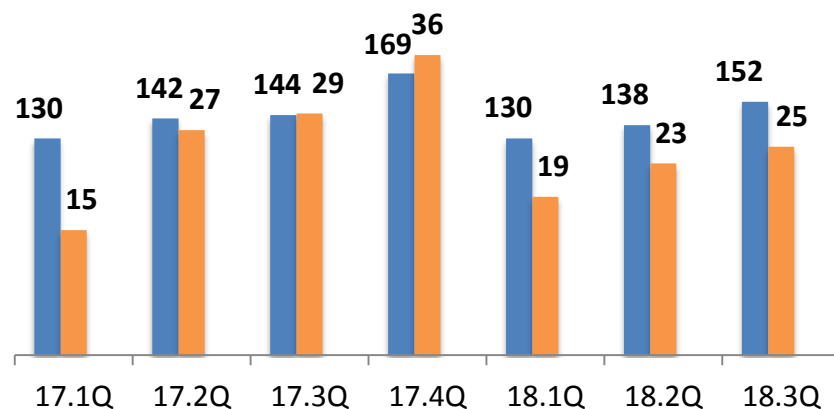
四 半 期

(億円)

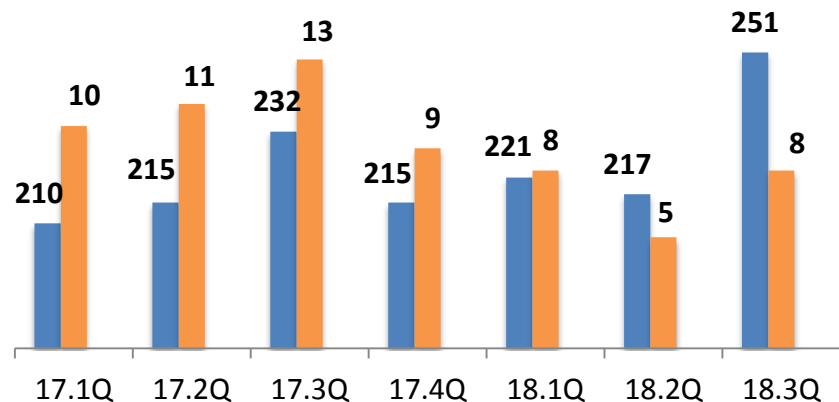
化粧品



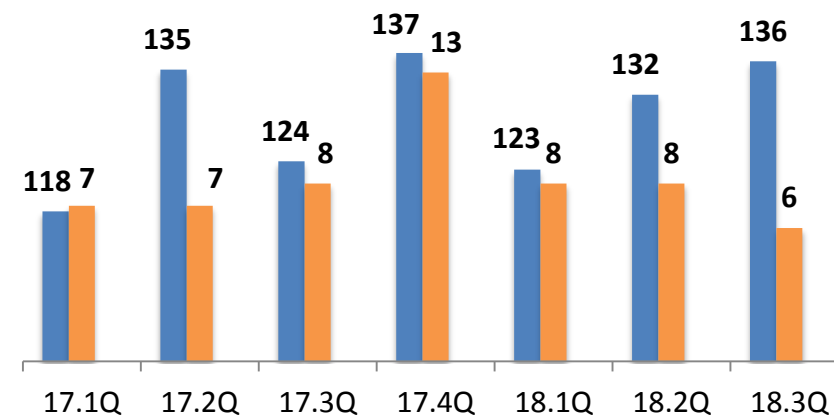
特殊品



セメント



ライフアメニティー



■ 売上高 ■ 営業利益

本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

Chemistry with a heart

TOKUYAMA

